

高齢者・障がい者の
移動手段の確保を考えるセミナー

「福祉と交通」 の連携

2017年6月、国土交通省は「高齢者の移動手段の確保のための検討会」のとりまとめを公表しました。

注目されるのは「福祉と交通」の連携。地域における高齢者や障がいのある人のニーズに応えるためには、公共交通の使いやすさと共に有償運送やたすけあい活動も今後重要になると考えられています。(とりまとめより)

地域のニーズに応えるために知っておきたい制度のこと、試行錯誤の中で進められてきた先進事例を聞いてディスカッションしましょう。

開催日時・場所

- 2018年
4月12日(木)
14:00～16:45
- 横浜市社会福祉
センター4階ホール
- 資料代 500円

プログラム

はじめに

■ 基調講演

鎌田 実氏 東京大学教授

移動困難に陥る高齢者の生活実態、公共交通機関の現状、それを補完するたすけあいの活動の重要性など、地域交通の現状について伺います。
「高齢者の移動手段の確保のための検討会」座長。

金子 正志氏 国土交通省交通計画課長

検討会の中間とりまとめと、その後の新たなルールの整備について。

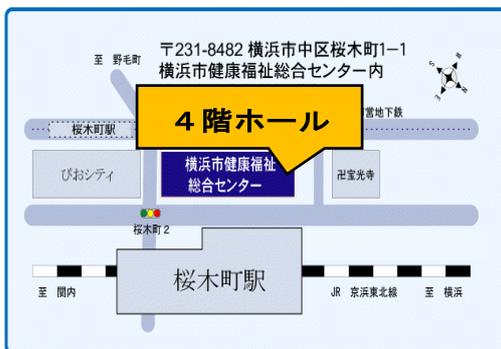
服部 真治氏 医療経済研究機構総務部次長

住民主体のサービスが広がらない現状。総合事業を知って、使いこなすには。

■ パネルディスカッション

横浜市都市交通課・健康高齢福祉部、

二宮町 NPO、川崎市宮前区社会福祉協議会



■ 参加申込み ホームページよりお申し込みください。(団体名・所属名・参加者名・参加人数・連絡先) 電話でも承ります。

主催：(認定) NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク 共催：NPO 法人全国移動サービスネットワーク

協力：神奈川県 後援：国土交通省(申請中)

■ 申し込みはホームページの申し込みフォームよりお願いします <http://www.kanagawa-ido.net/>

QRコードからもどうぞ➡



kanagawa-idonet@b04.itscom.net

045 (534) 6718